

我が国の産業活動の動向

2025年10-12月期

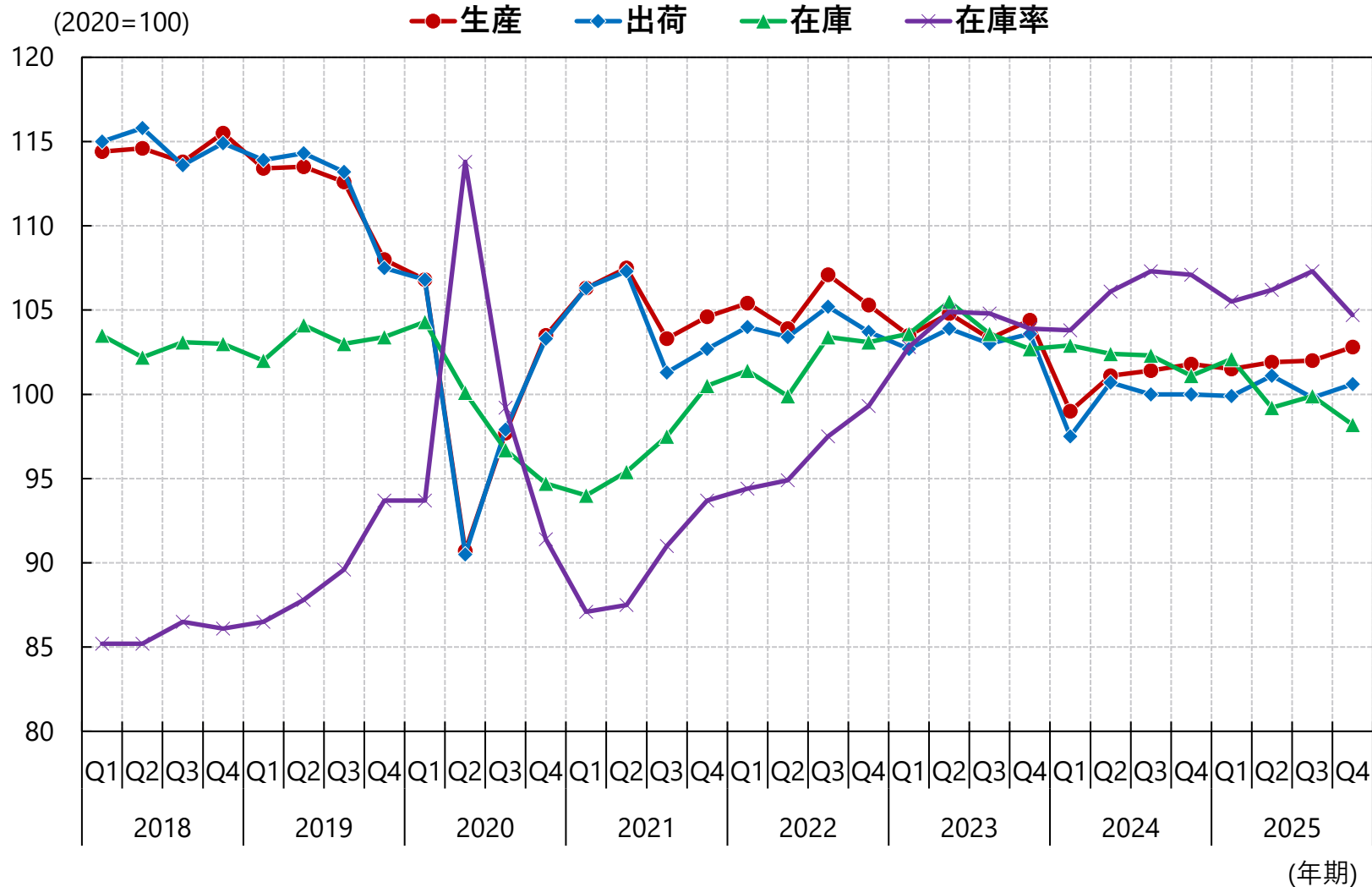
2026年2月20日

経済産業省 調査統計グループ 経済解析室

鉦工業活動の動向

鉍工業生産・出荷・在庫・在庫率の動向

【鉍工業生産・出荷・在庫・在庫率指数の推移】



2025年10-12月期

前期比(%)

生産	0.8
出荷	0.8
在庫	-1.7
在庫率	-2.4

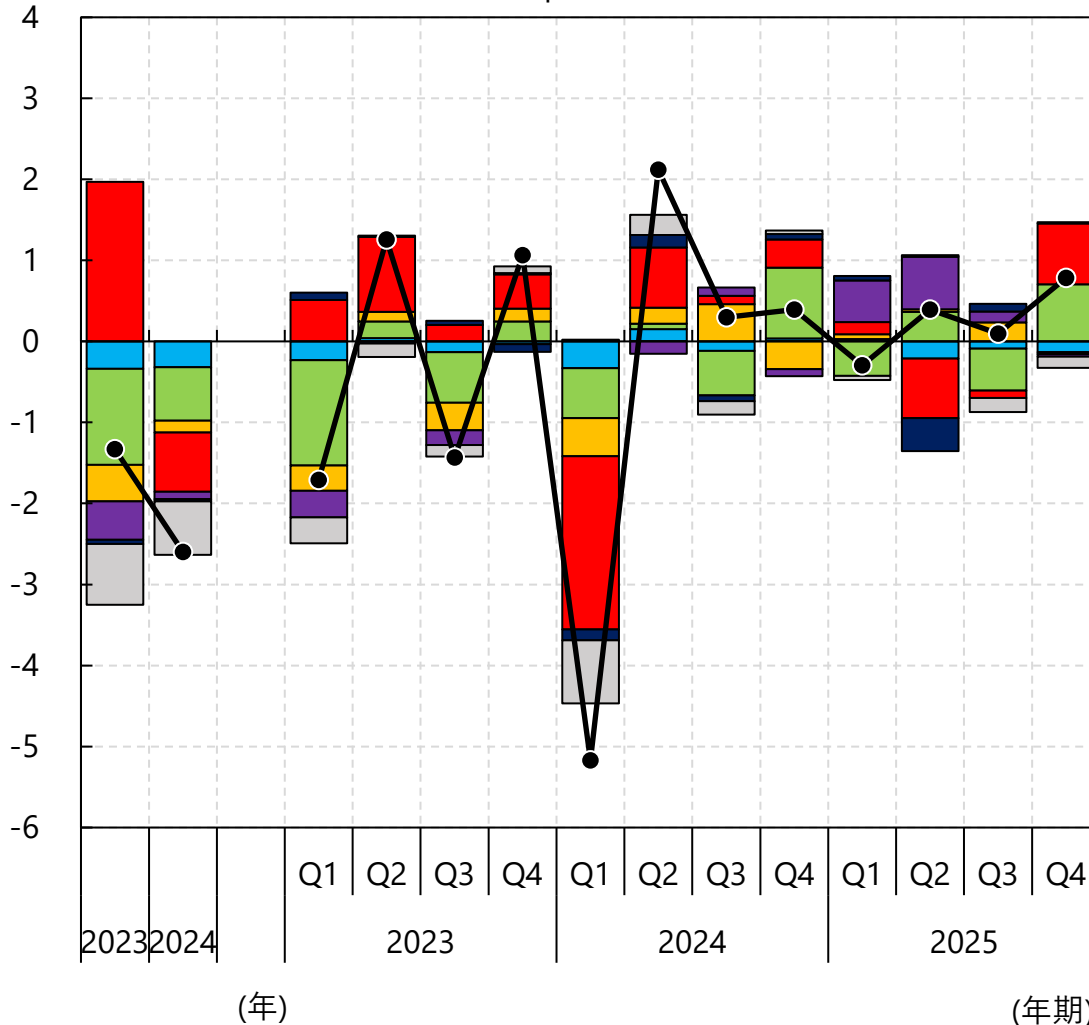
資料：経済産業省「鉍工業指数」

注：季節調整済指数

鋳工業生産の業種別変動要因

【鋳工業生産の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



● 鋳工業

- 自動車工業、輸送機械工業 (除. 自動車工業)
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 無機・有機化学工業、化学工業 (除. 無機・有機化学工業)
- 食料品・たばこ工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業
その他工業、鋳業が含まれる。

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

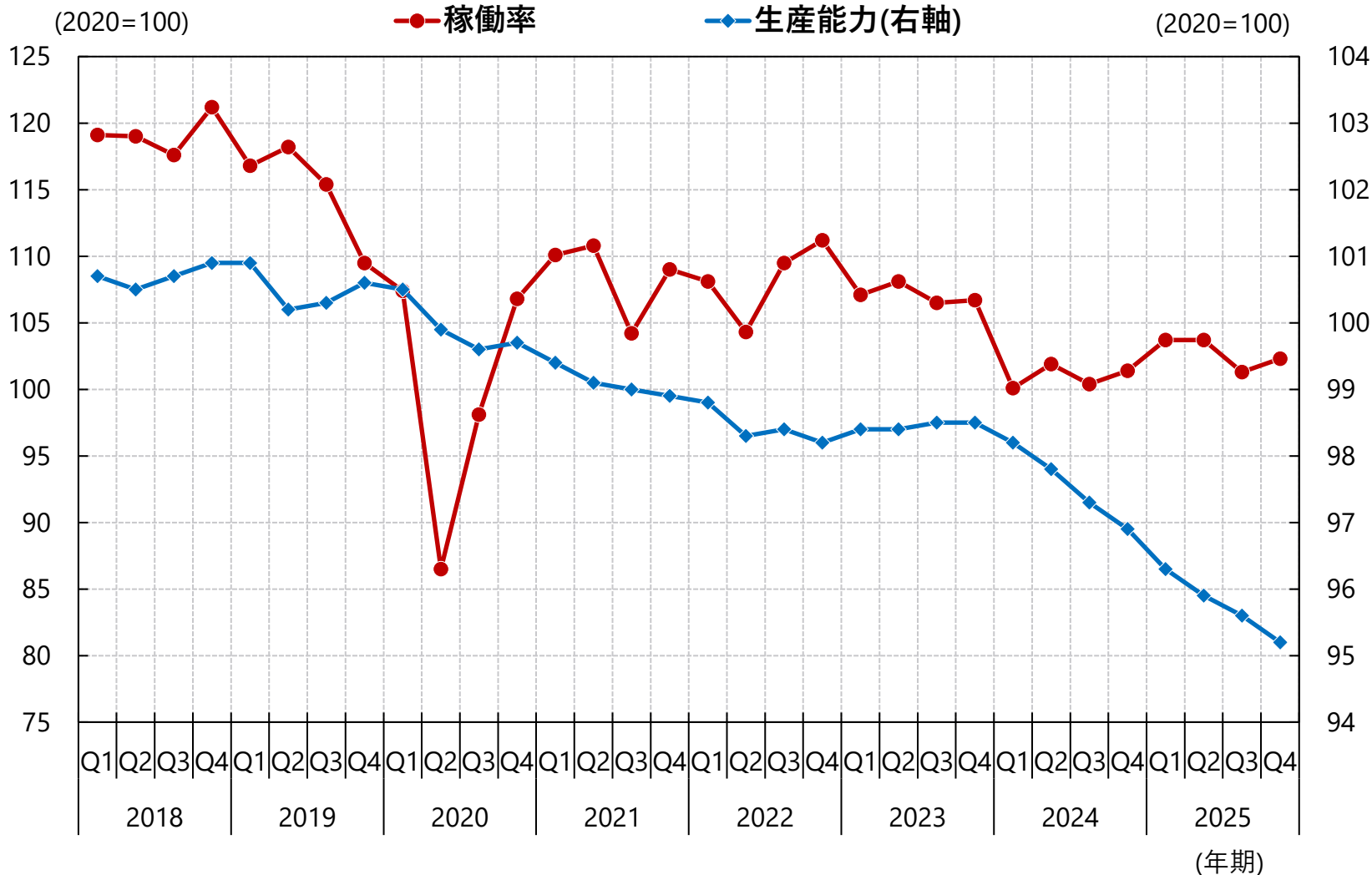
上昇に寄与した業種	1位	生産用機械工業
	2位	自動車工業
	3位	輸送機械工業 (除. 自動車工業)
低下に寄与した業種	1位	電子部品・デバイス工業
	2位	化学工業 (除. 無機・有機化学工業)
	3位	鉄鋼・非鉄金属工業

資料：経済産業省「鋳工業指数」

注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

製造工業生産能力・稼働率の動向

【製造工業生産能力・稼働率指数の推移】



2025年10-12月期

前期比(%)

生産能力	-0.4
稼働率	1.0

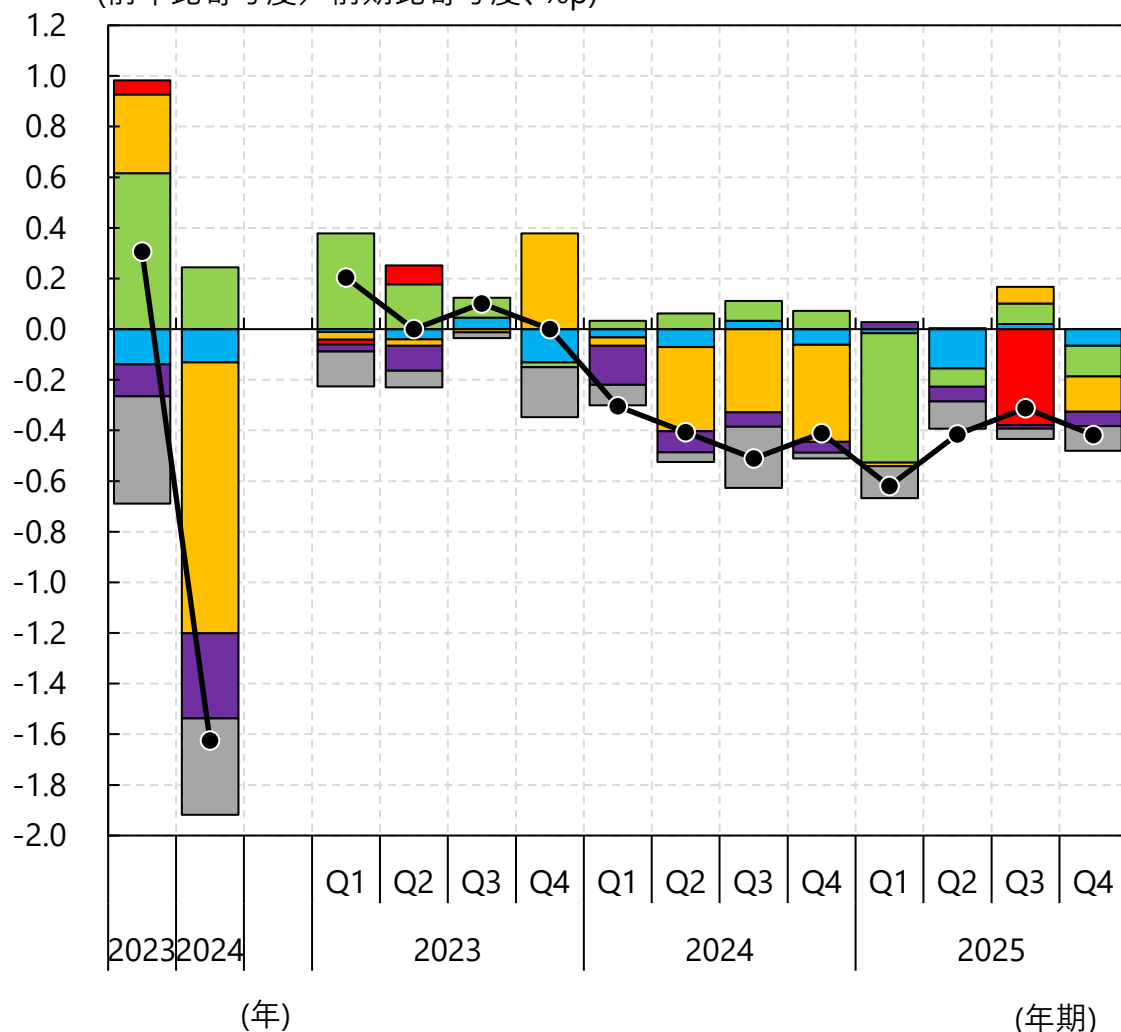
資料：経済産業省「製造工業生産能力・稼働率指数」

注:生産能力指数は原指数、稼働率指数は季節調整済指数

製造工業生産能力の業種別変動要因

【製造工業生産能力の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



- 製造工業
- 輸送機械工業
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 化学工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、
パルプ・紙・紙加工品工業、その他工業が含まれる。

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

上昇に寄与した業種	1位	石油・石炭製品工業
	2位	汎用・業務用機械工業
	3位	-
低下に寄与した業種	1位	電子部品・デバイス工業
	2位	生産用機械工業
	3位	窯業・土石製品工業

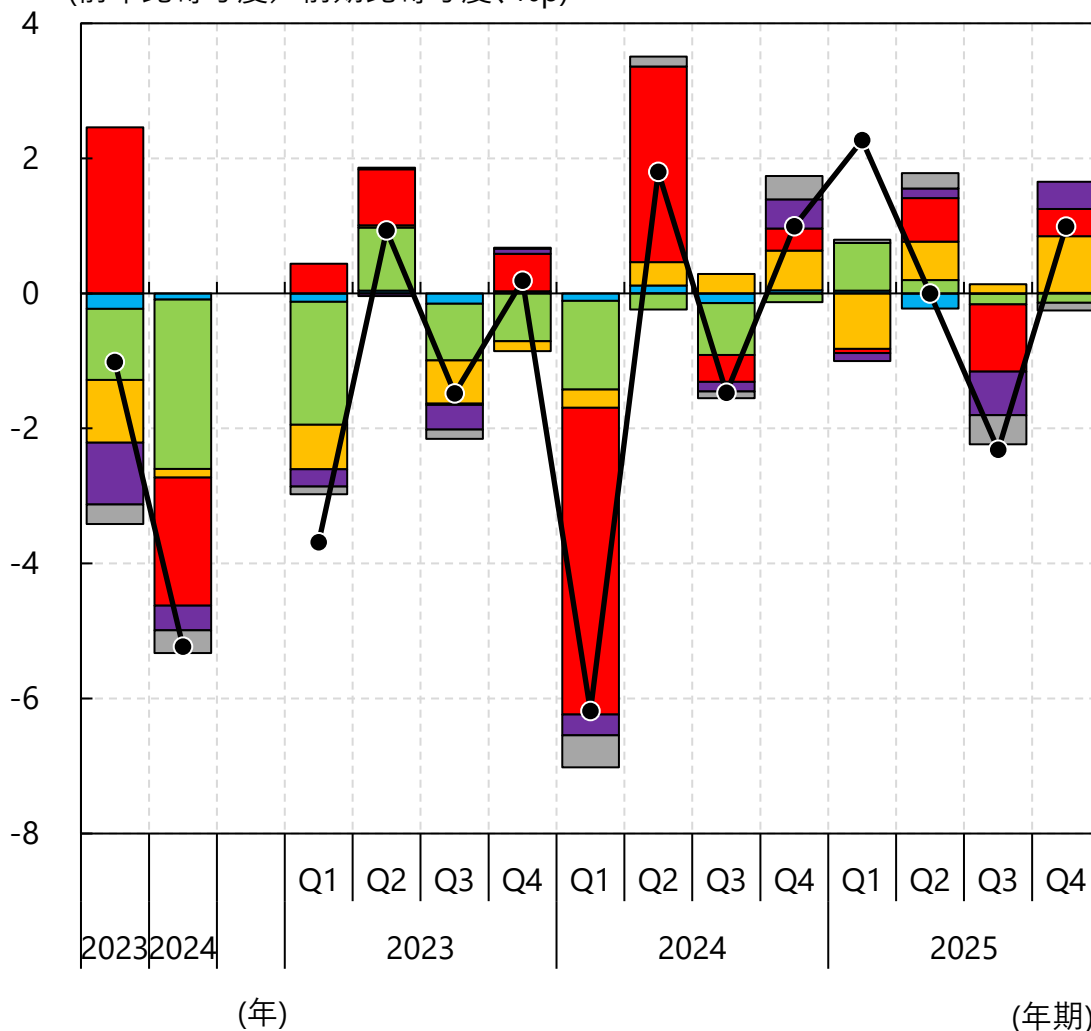
資料：経済産業省「製造工業生産能力・稼働率指数」

注：年、四半期ともに期末値の原指数。

製造工業稼働率の業種別変動要因

【製造工業稼働率の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



- 製造工業
- 輸送機械工業
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 化学工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、
パルプ・紙・紙加工品工業、その他工業が含まれる。

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

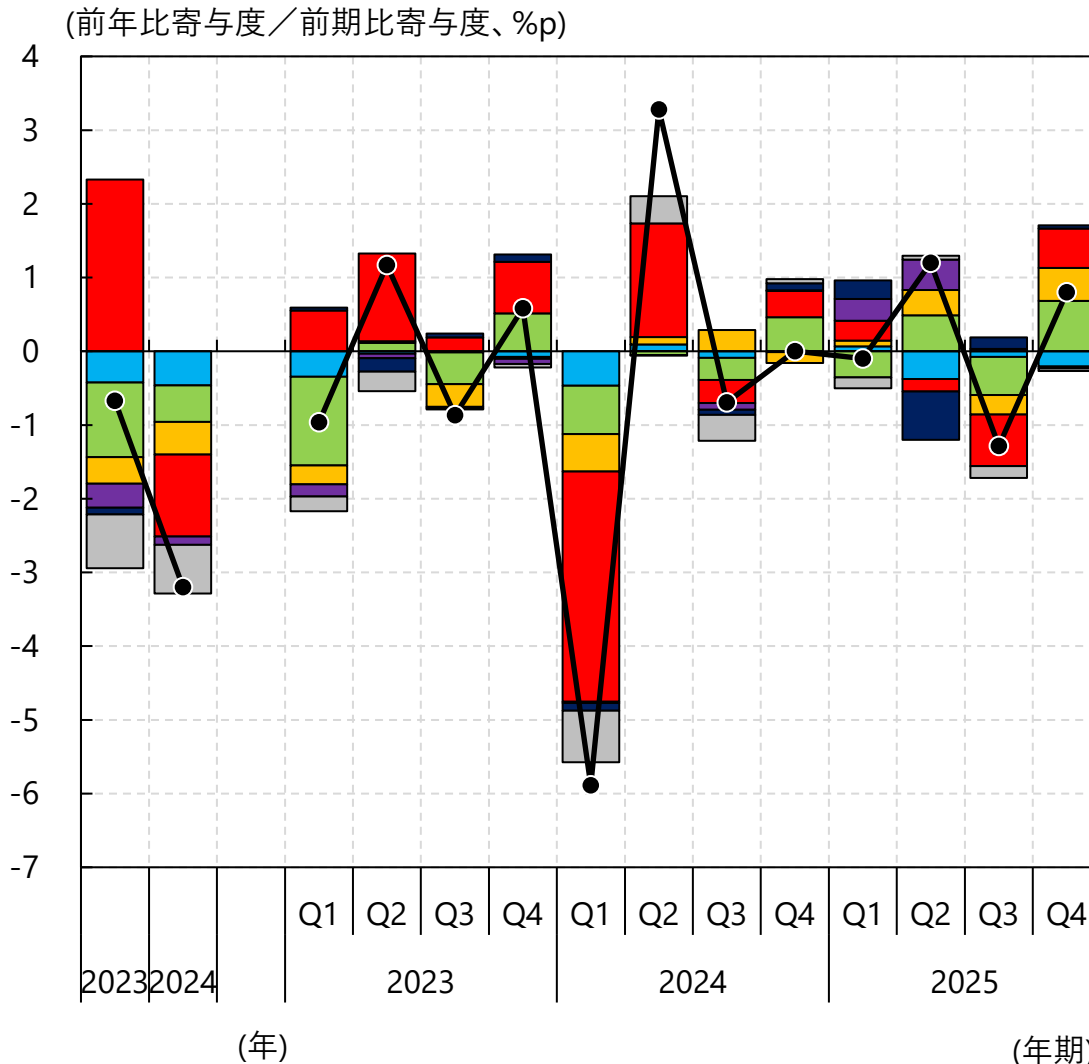
上昇に寄与した業種	1位	電子部品・デバイス工業
	2位	電気・情報通信機械工業
	3位	化学工業
低下に寄与した業種	1位	生産用機械工業
	2位	鉄鋼・非鉄金属工業
	3位	窯業・土石製品工業

資料：経済産業省「製造工業生産能力・稼働率指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、製造工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

鋳工業出荷の業種別変動要因

【鋳工業出荷の業種別変動要因分解】



- 鋳工業
- 自動車工業、輸送機械工業 (除. 自動車工業)
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 無機・有機化学工業、化学工業 (除. 無機・有機化学工業)
- 食料品・たばこ工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業
その他工業、鋳業が含まれる。

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

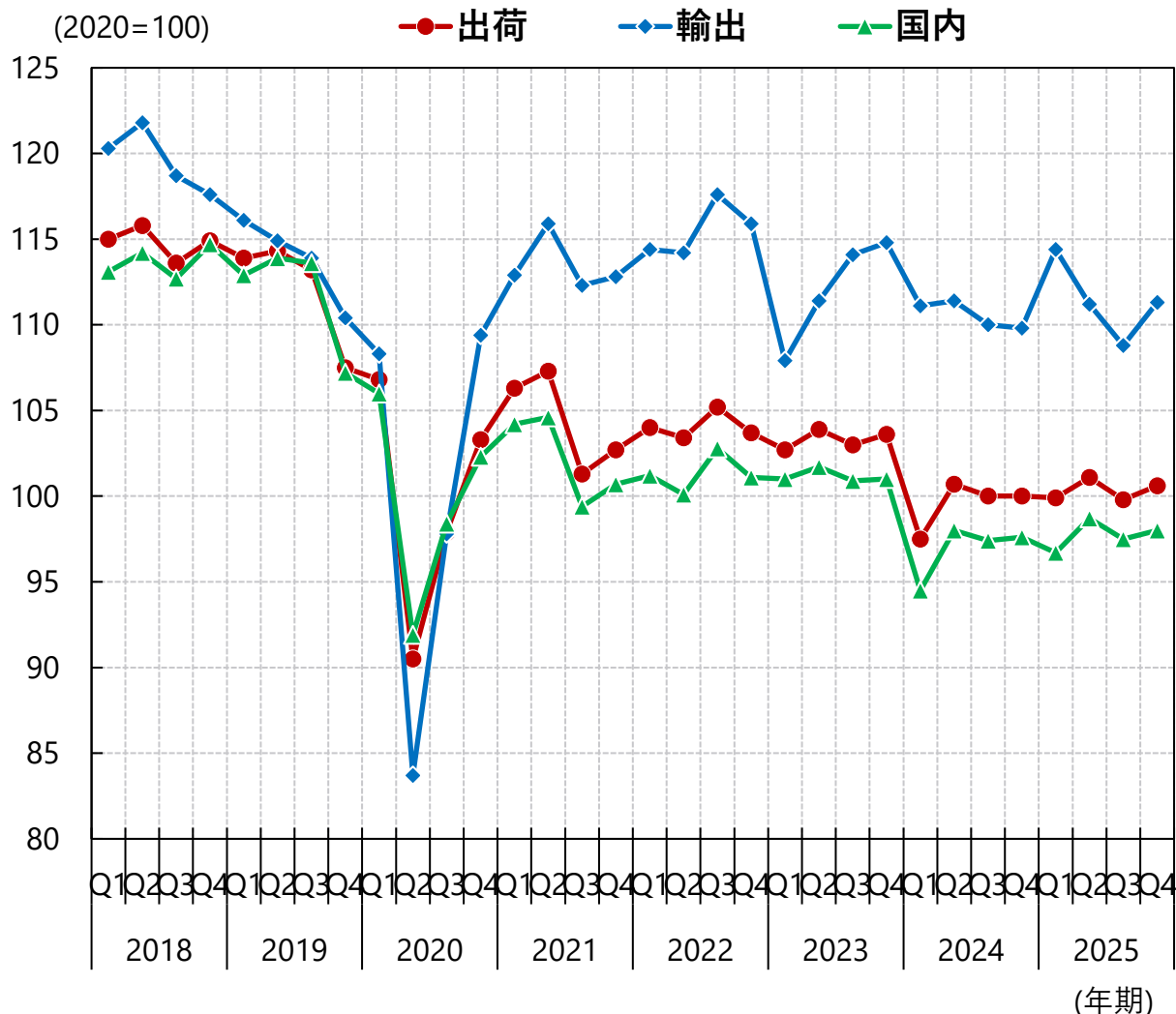
上昇に寄与した業種	1位	生産用機械工業
	2位	電気・情報通信機械工業
	3位	自動車工業
低下に寄与した業種	1位	鉄鋼・非鉄金属工業
	2位	その他工業
	3位	化学工業 (除. 無機・有機化学工業)

資料：経済産業省「鋳工業指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

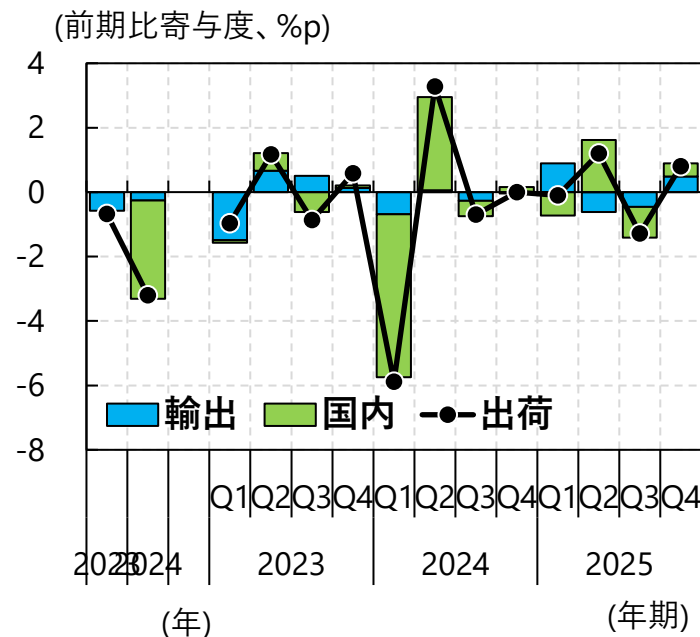
輸出／国内向け別にみた鋳工業出荷の動向

【輸出／国内向け鋳工業出荷指数の推移】



資料：経済産業省「鋳工業出荷内訳表・総供給表」
 注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。

【鋳工業出荷の変動要因分解】



2025年10-12月期

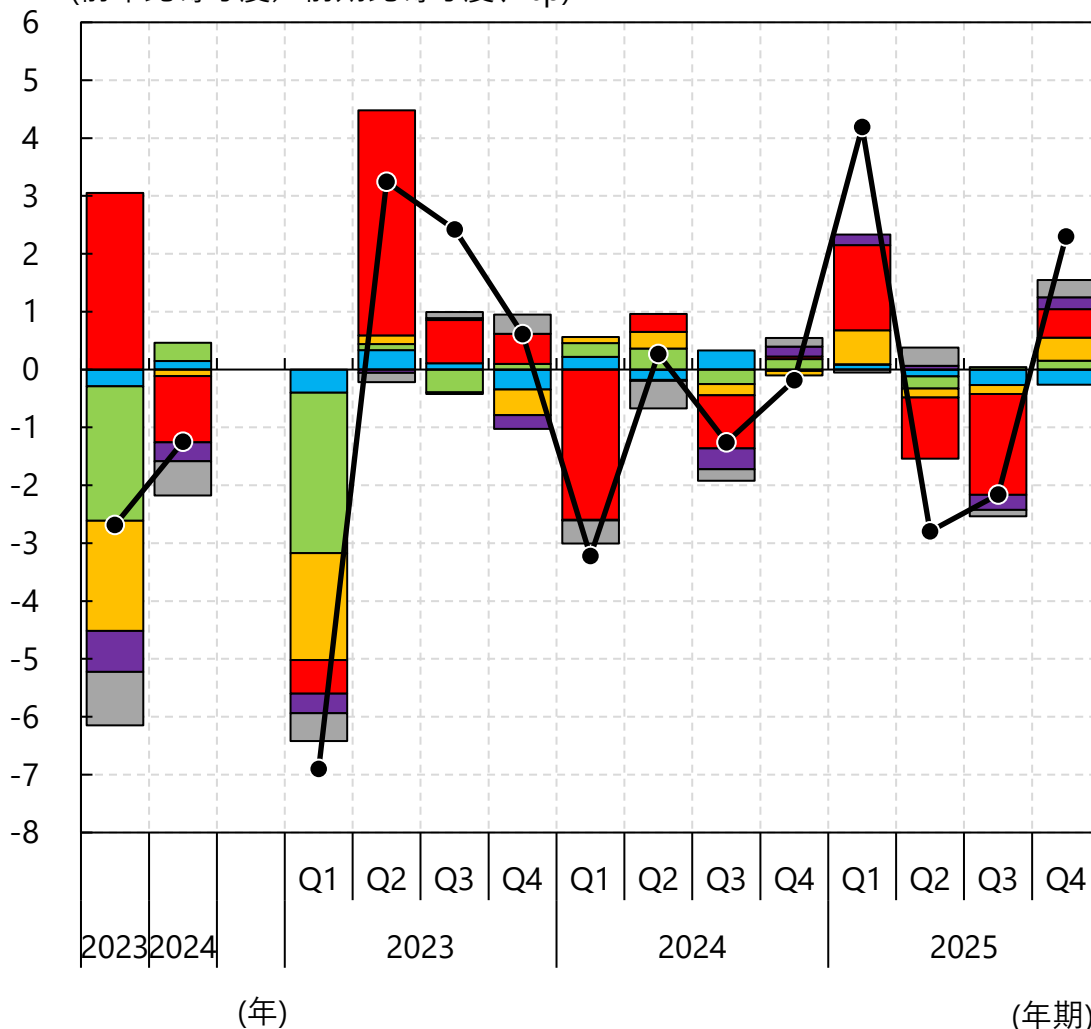
前期比 (%)

輸出向け出荷	2.3
国内向け出荷	0.5

輸出向け出荷（鉱工業全体）の業種別変動要因分解

【輸出向け出荷（鉱工業全体）の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



- 鉱工業
- 輸送機械工業
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 化学工業（除、医薬品）
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業
その他工業、鉱業が含まれる。

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

上昇に寄与した業種	1位	輸送機械工業
	2位	電気・情報通信機械工業
	3位	生産用機械工業
低下に寄与した業種	1位	鉄鋼・非鉄金属工業
	2位	汎用・業務用機械工業
	3位	窯業・土石製品工業

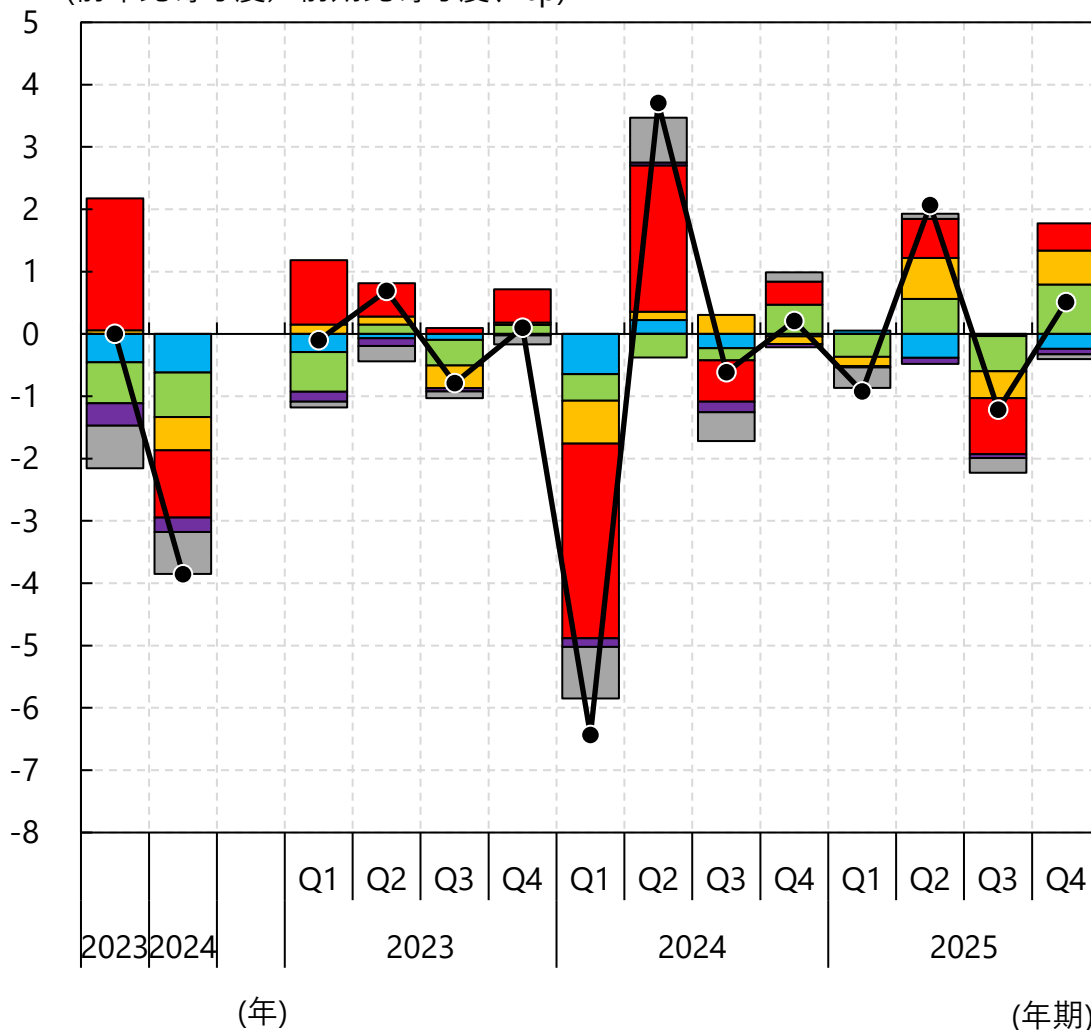
資料：経済産業省「鉱工業出荷内訳表・総供給表」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鉱工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

国内向け出荷（鋳工業全体）の業種別変動要因分解

【国内向け出荷（鋳工業全体）の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



- 鋳工業
- 輸送機械工業
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 化学工業（除、医薬品）
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業
その他工業、鋳業が含まれる。

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

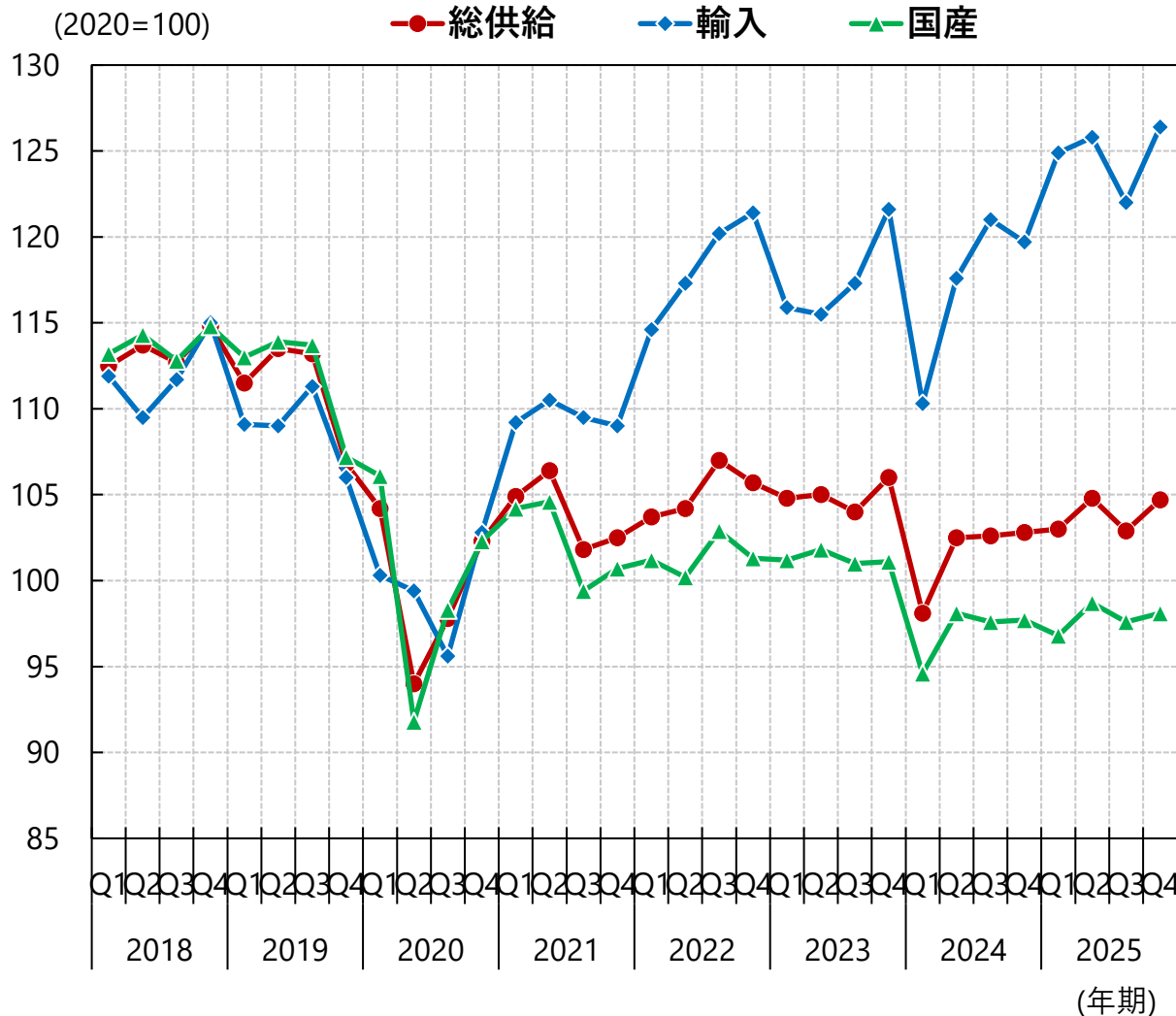
上昇に寄与した業種	1位	電気・情報通信機械工業
	2位	生産用機械工業
	3位	輸送機械工業
低下に寄与した業種	1位	鉄鋼・非鉄金属工業
	2位	化学工業（除、医薬品）
	3位	その他工業

資料：経済産業省「鋳工業出荷内訳表・総供給表」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

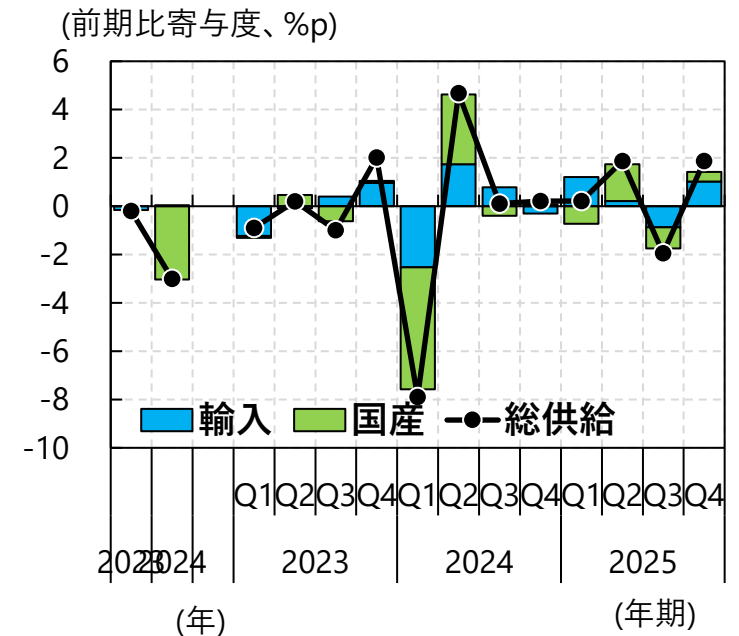
鈇工業総供給の動向

【鈇工業総供給指数の推移】



資料：経済産業省「鈇工業出荷内訳表・総供給表」
 注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。

【鈇工業総供給の変動要因分解】



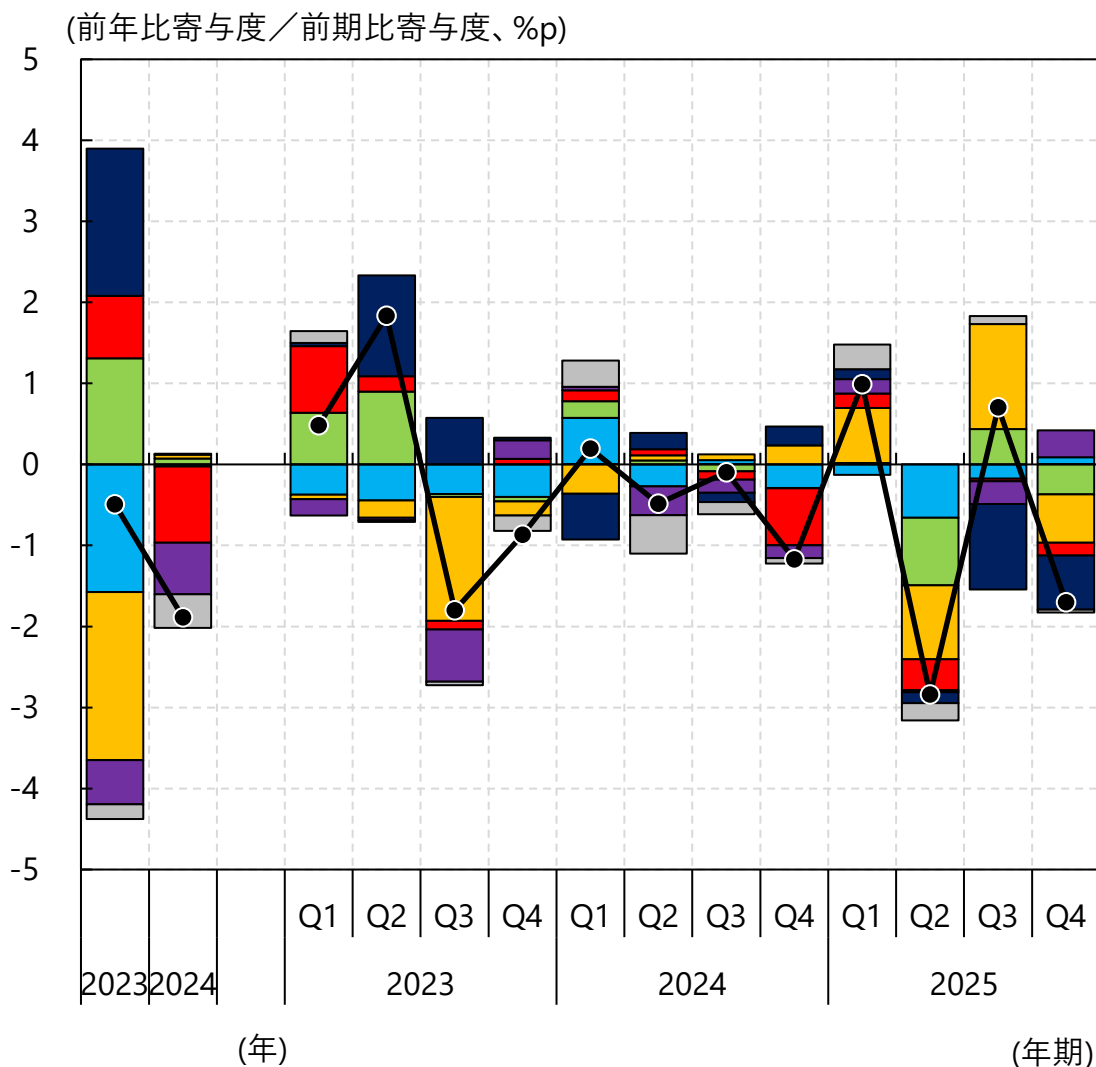
2025年10-12月期

前期比 (%)

総供給	1.9
輸入	3.6
国産	0.5

鋳工業在庫の業種別変動要因分解

【鋳工業在庫の業種別変動要因分解】



- 鋳工業
- 自動車工業、輸送機械工業 (除、自動車工業)
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 無機・有機化学工業、化学工業 (除、無機・有機化学工業)
- 食料品・たばこ工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業
その他工業、鋳業が含まれる。

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

上昇に寄与した業種	1位	無機・有機化学工業
	2位	汎用・業務用機械工業
	3位	鉄鋼・非鉄金属工業
低下に寄与した業種	1位	食料品・たばこ工業
	2位	電気・情報通信機械工業
	3位	生産用機械工業

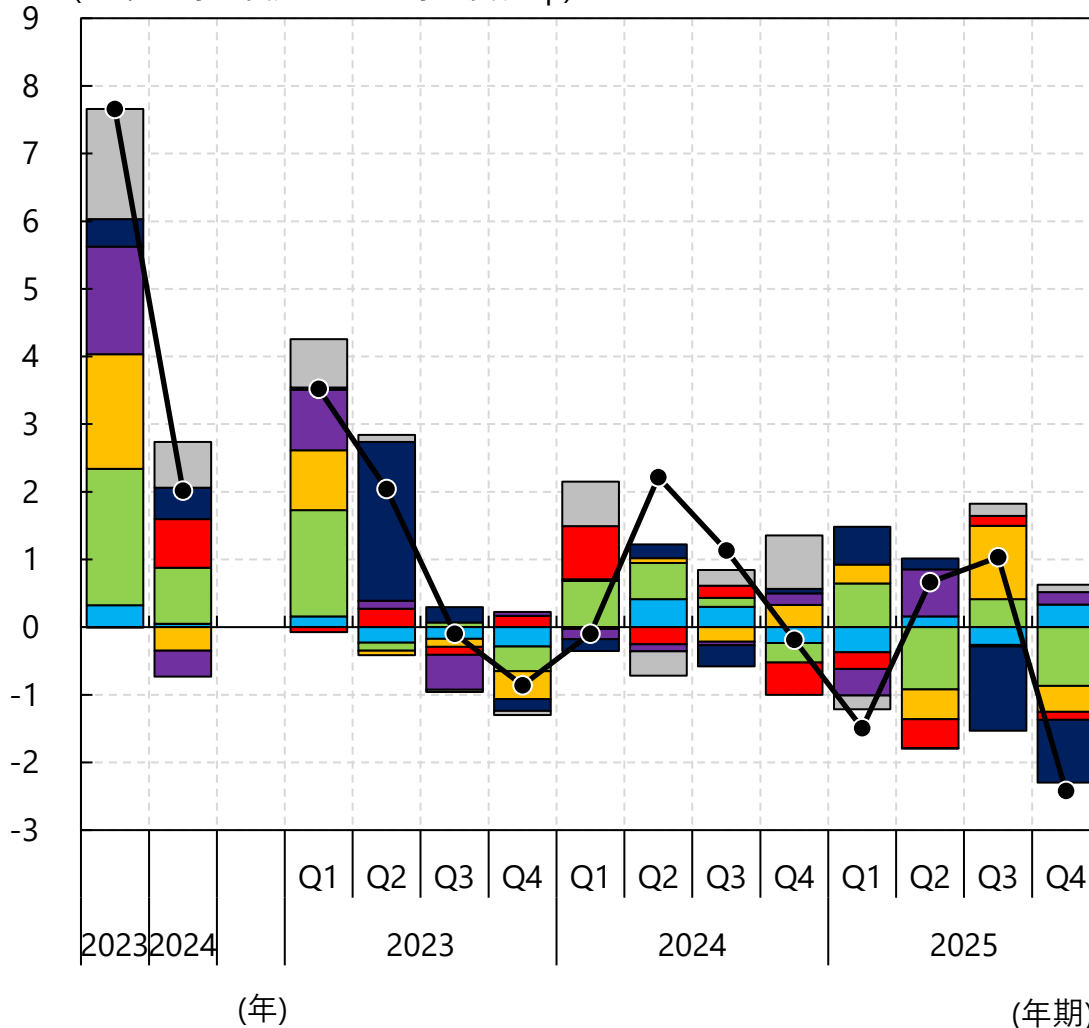
資料：経済産業省「鋳工業指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

鋳工業在庫率の業種別変動要因分解

【鋳工業在庫率の業種別変動要因分解】

(前年比寄与度／前期比寄与度、%p)



● 鋳工業

- 自動車工業、輸送機械工業 (除. 自動車工業)
- 生産用機械工業、汎用・業務用機械工業
- 電子部品・デバイス工業、電気・情報通信機械工業
- 鉄鋼・非鉄金属工業、金属製品工業
- 無機・有機化学工業、化学工業 (除. 無機・有機化学工業)
- 食料品・たばこ工業
- その他※

※窯業・土石製品工業、石油・石炭製品工業、プラスチック製品工業、パルプ・紙・紙加工品工業
その他工業、鋳業が含まれる。

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

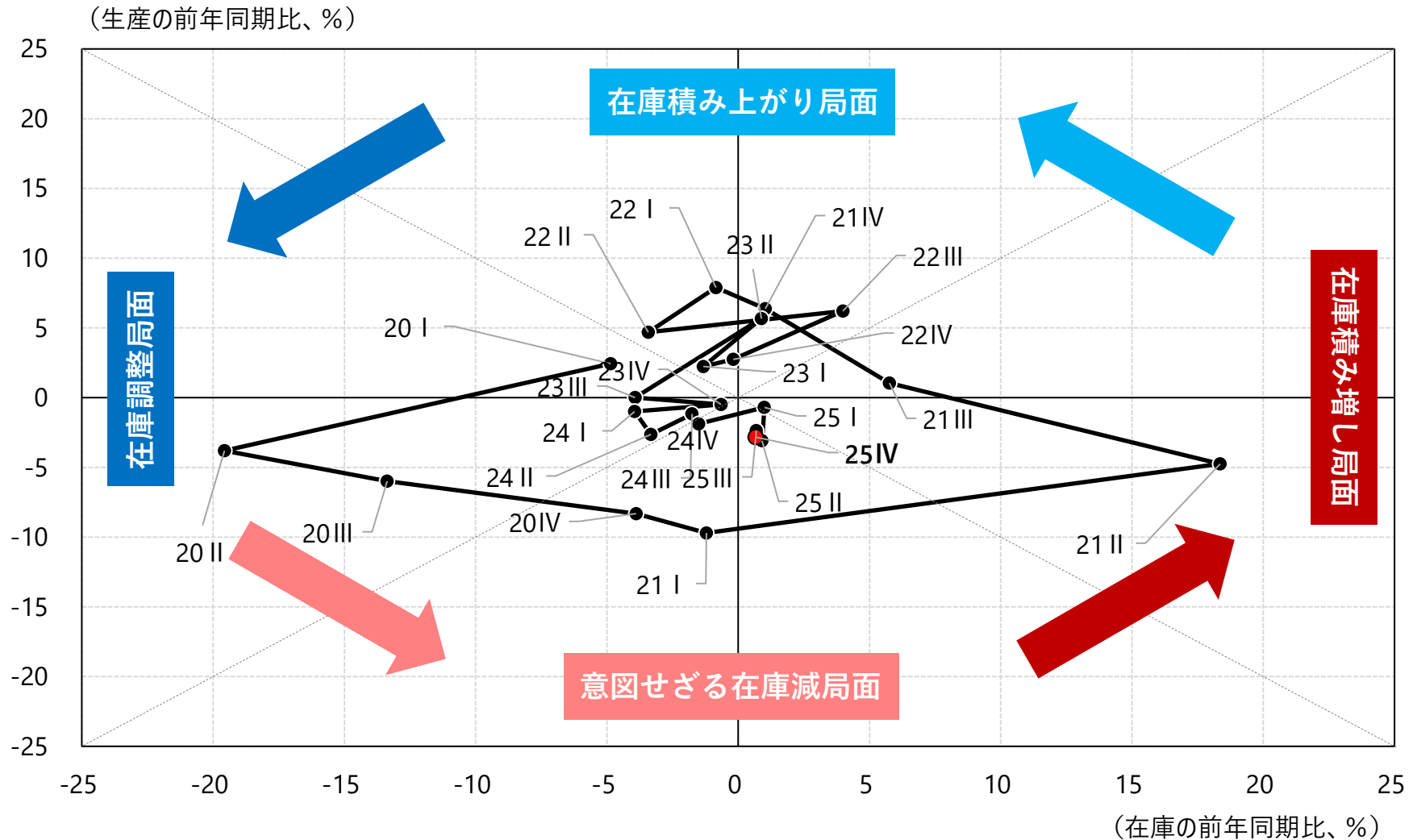
上昇に寄与した業種	1位	鉄鋼・非鉄金属工業
	2位	無機・有機化学工業
	3位	パルプ・紙・紙加工品工業
低下に寄与した業種	1位	食料品・たばこ工業
	2位	生産用機械工業
	3位	電気・情報通信機械工業

資料：経済産業省「鋳工業指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、鋳工業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

在庫循環の動き

【在庫循環図（鉱工業全体）】

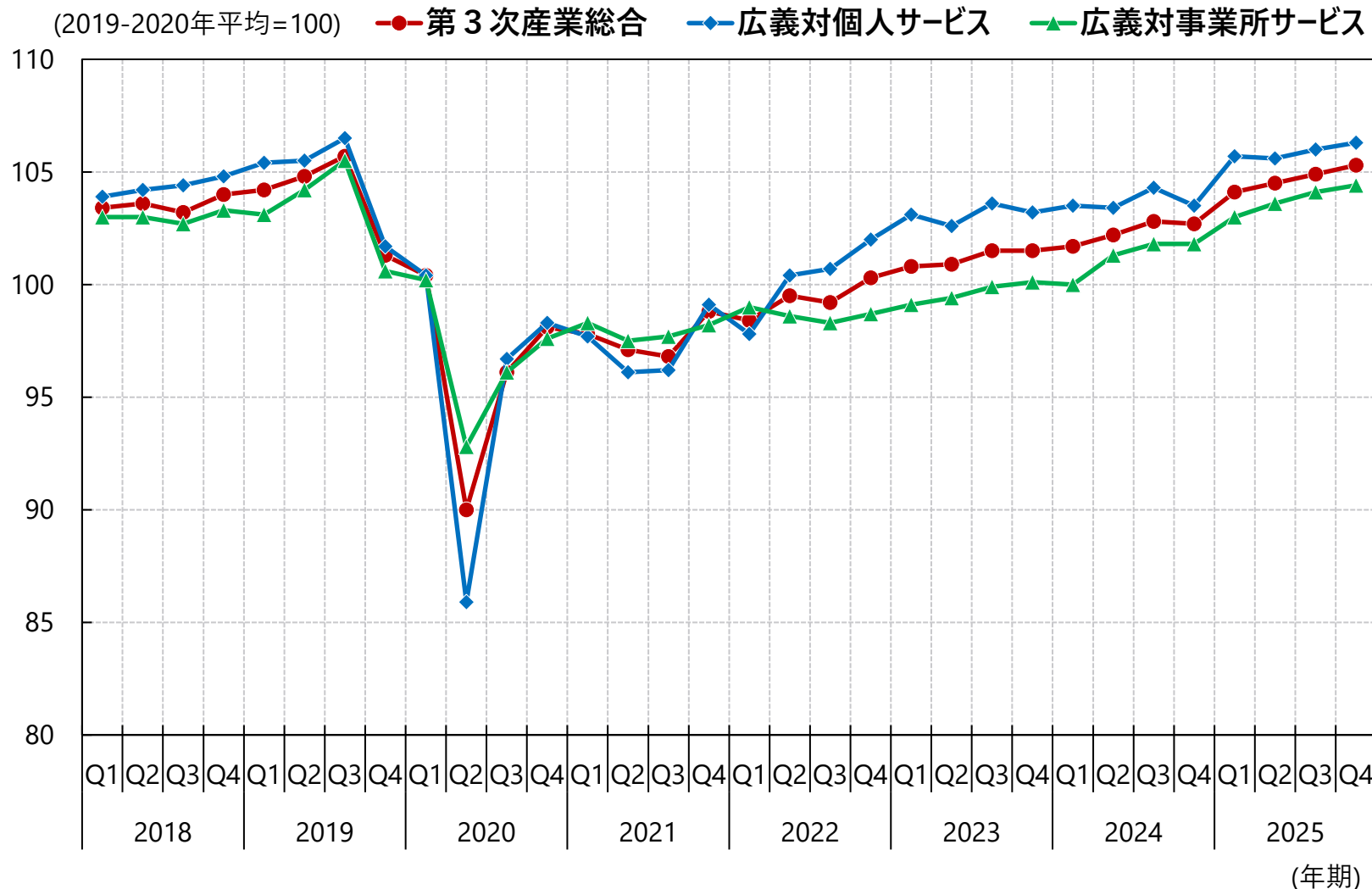


資料：経済産業省「鉱工業指数」
注：原指数、在庫は期末値。

第3次産業活動の動向

第3次産業活動の動向

【第3次産業活動指数の推移】



2025年10-12月期

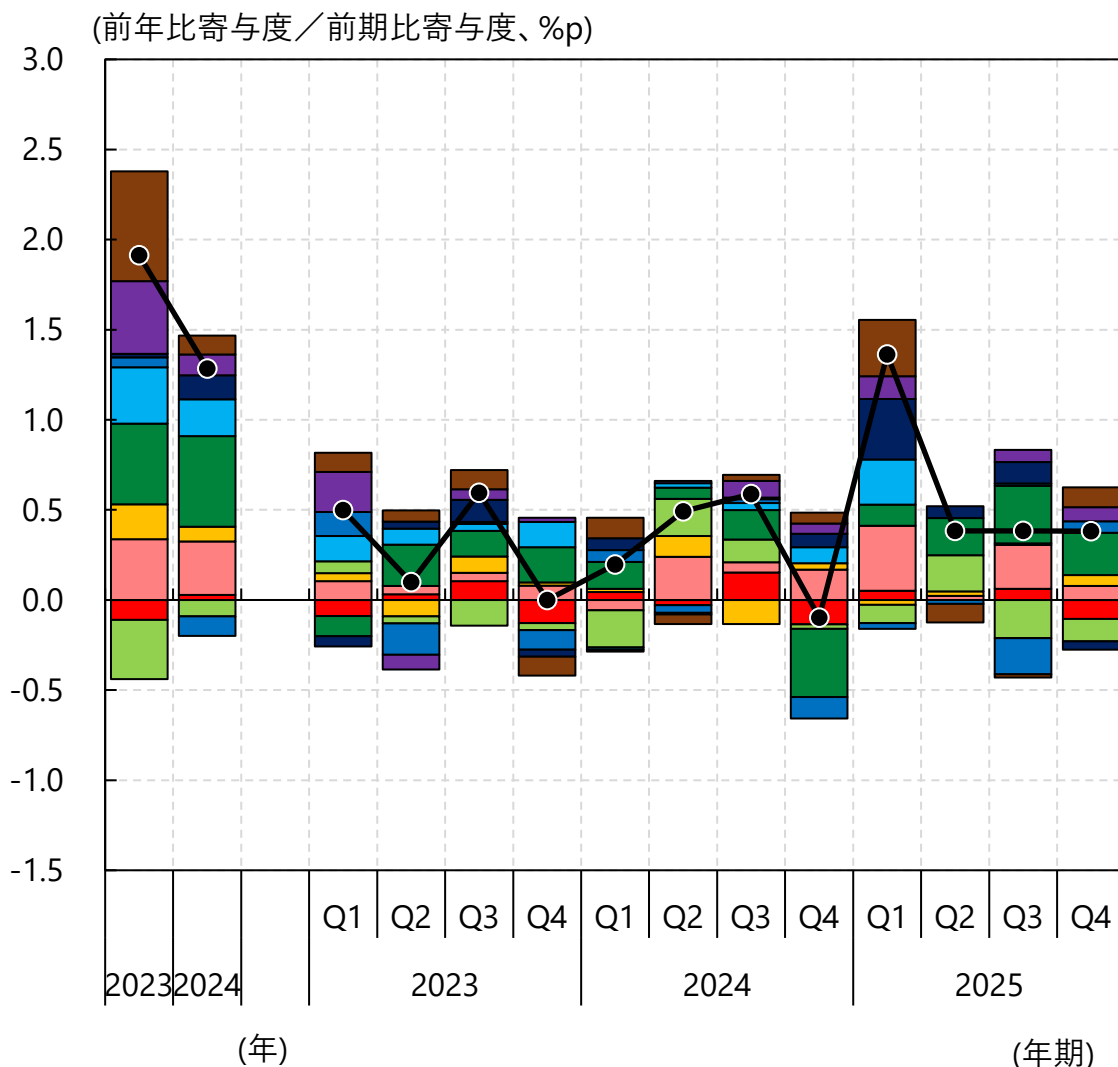
前期比(%)

第3次産業 総合	0.4
広義対個人 サービス	0.3
広義対事業所 サービス	0.3

資料：経済産業省「第3次産業活動指数」
注：季節調整済指数

第3次産業活動の業種別変動要因

【第3次産業活動の業種別変動要因分解】



- 第3次産業総合
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 情報通信業
- 運輸業、郵便業
- 卸売業
- 金融業、保険業
- 事業者向け関連サービス (リース業を含む)
- 小売業
- 不動産業
- 医療、福祉
- 生活娯楽関連サービス

2025年10-12月期 上昇／低下に寄与した業種

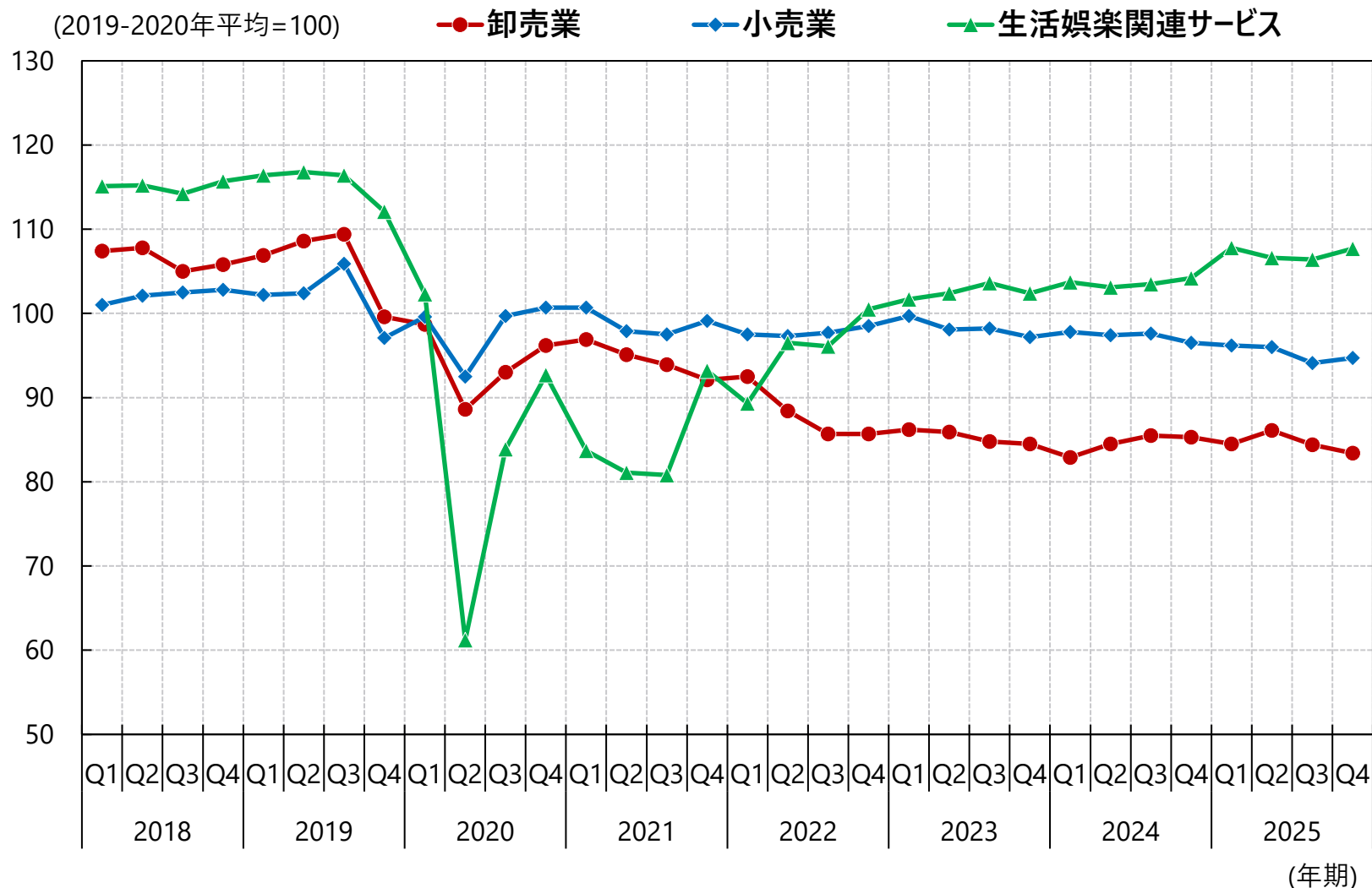
上昇に寄与した業種	1位	金融業、保険業
	2位	生活娯楽関連サービス
	3位	医療、福祉
低下に寄与した業種	1位	卸売業
	2位	電気・ガス・熱供給・水道業
	3位	不動産業

資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。

卸売業、小売業、生活娯楽関連サービス業の動向

【卸売業、小売業、生活娯楽関連サービス業の活動指数の推移】



2025年10-12月期

前期比(%)

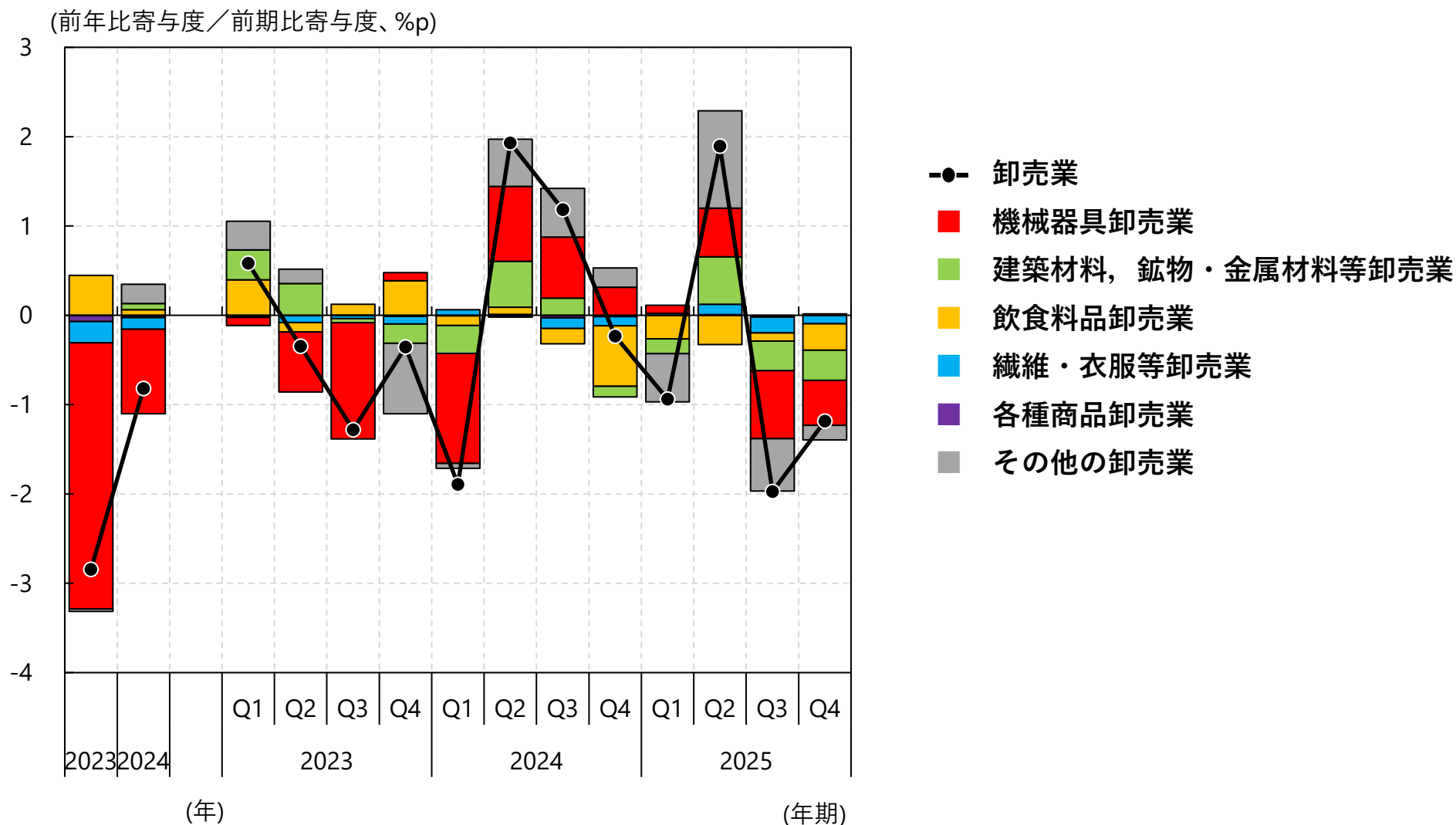
卸売業	-1.2
小売業	0.6
生活娯楽関連サービス業	1.2

資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注:季節調整済指数

卸売業活動の業種別変動要因

【卸売業活動の業種別変動要因分解】

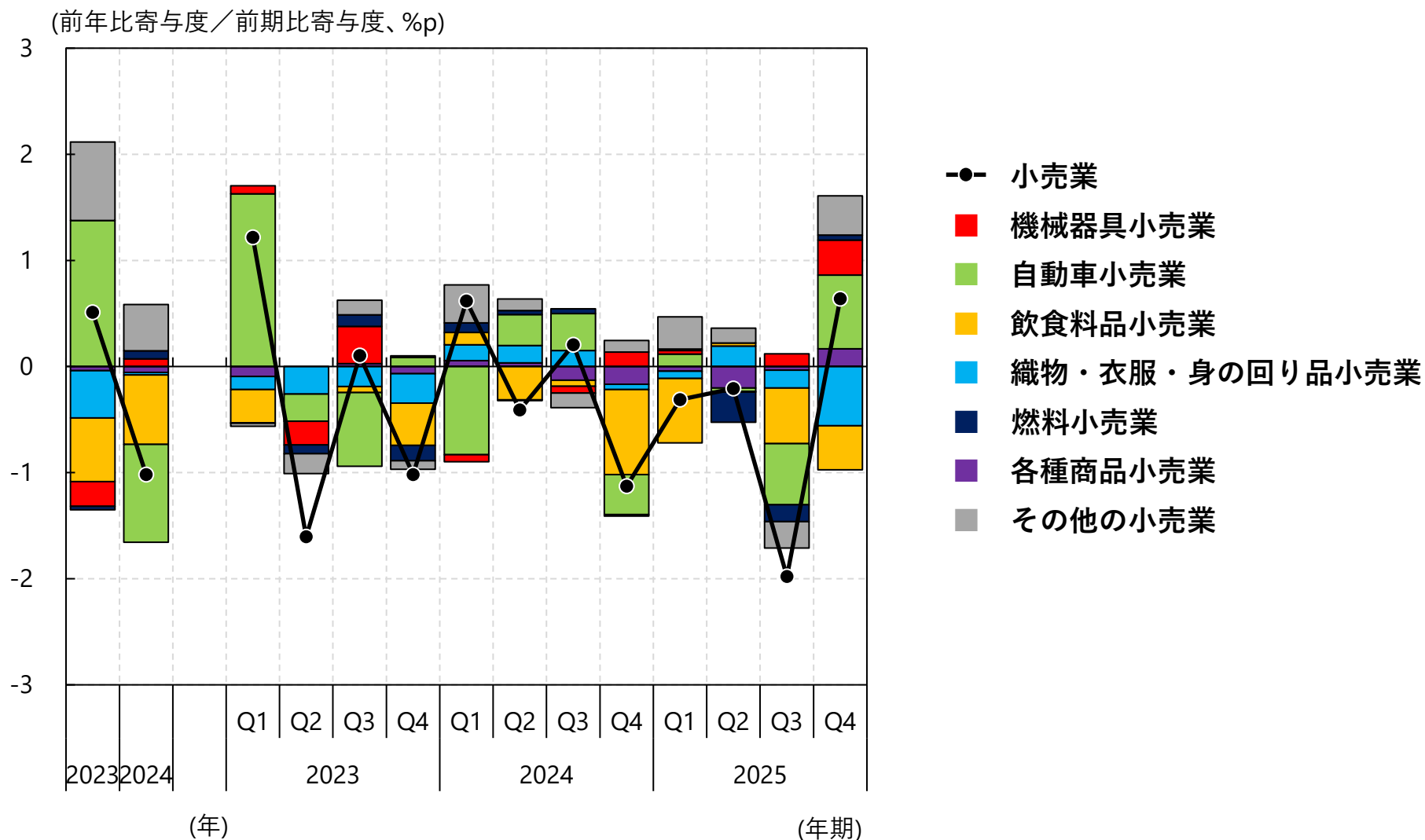


資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、卸売業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

小売業活動の業種別変動要因

【小売業活動の業種別変動要因分解】

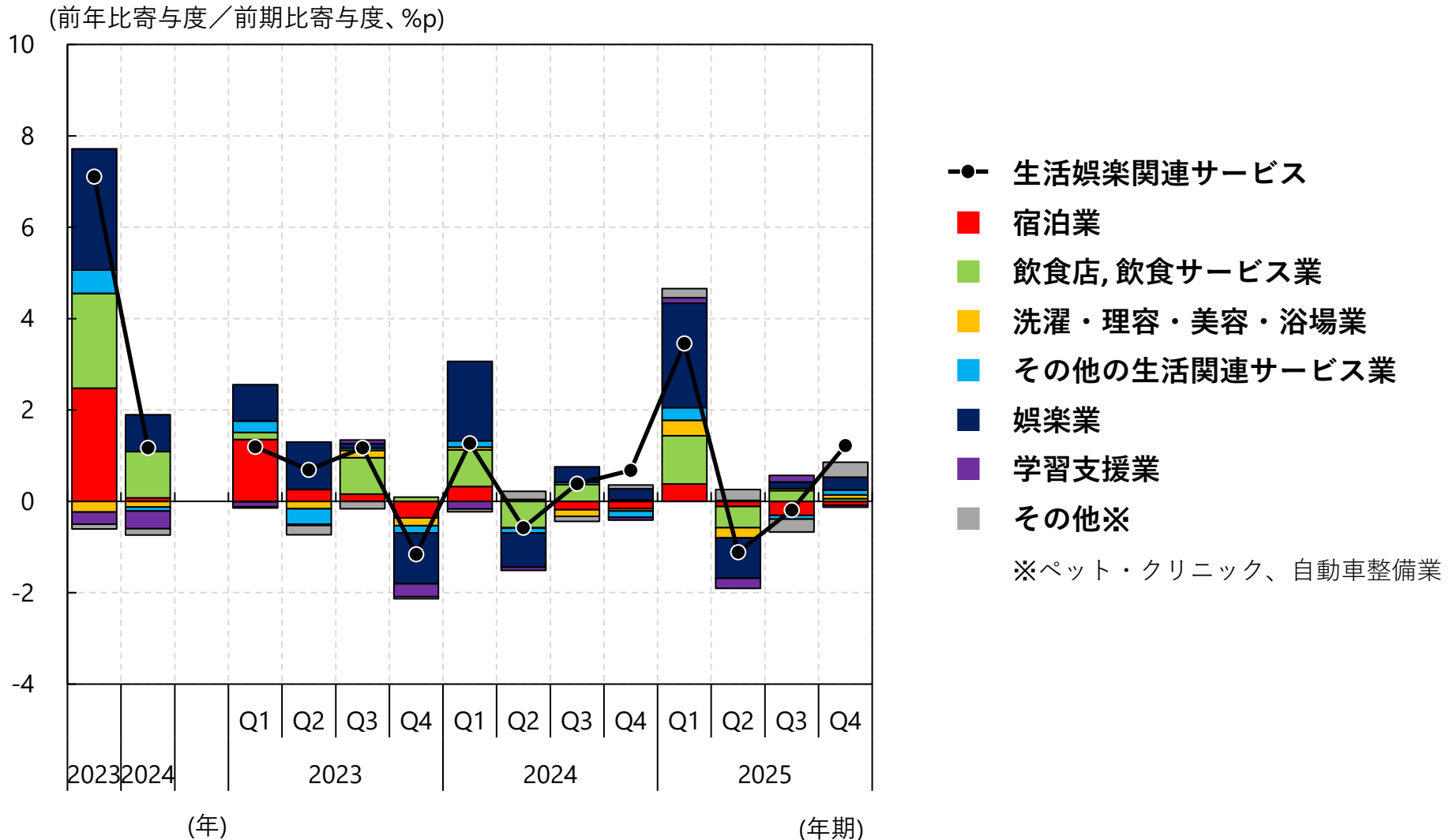


資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注：年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、小売業全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

生活娯楽関連サービス活動の業種別変動要因

【生活娯楽関連サービス活動の業種別変動要因分解】



資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

注:年は原指数、四半期は季節調整済指数により作成。季節調整済指数については、生活娯楽関連サービス全体と業種ごとの寄与度の合計は必ずしも一致しない。

鉦工業及び第3次産業活動の基調判断

鋳工業及び第3次産業活動の基調判断

	鋳工業生産	第3次産業活動
2022年1月	生産は持ち直しの動きがみられる	一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き
2022年2月	〃	足踏みがみられる(↓)
2022年3月	〃	持ち直しの兆しがみられる(↑)
2022年4月	生産は足踏みをしている(↓)	持ち直しの動き(↑)
2022年5月	生産は弱含み(↓)	持ち直し傾向にある(↑)
2022年6月	生産は一進一退(↑)	〃
2022年7月	〃	〃
2022年8月	生産は緩やかな持ち直しの動き(↑)	〃
2022年9月	〃	〃
2022年10月	生産は緩やかに持ち直しているものの、一部に弱さがみられる(↓)	〃
2022年11月	生産は弱含み(↓)	〃
2022年12月	〃	〃
2023年1月	〃	〃
2023年2月	〃	〃
2023年3月	生産は緩やかな持ち直しの動き(↑)	〃
2023年4月	〃	〃
2023年5月	〃	持ち直している(↑)
2023年6月	〃	〃
2023年7月	生産は一進一退(↓)	〃
2023年8月	〃	〃
2023年9月	〃	〃
2023年10月	〃	足踏みがみられる(↓)
2023年11月	〃	〃
2023年12月	〃	〃
2024年1月	生産は一進一退ながら弱含み(↓)	〃
2024年2月	〃	持ち直しの兆しがみられる(↑)
2024年3月	〃	一進一退(↓)
2024年4月	〃	〃
2024年5月	〃	〃
2024年6月	〃	〃
2024年7月	生産は一進一退(↑)	〃
2024年8月	〃	〃
2024年9月	〃	〃
2024年10月	〃	〃
2024年11月	〃	〃
2024年12月	〃	〃
2025年1月	〃	〃
2025年2月	〃	〃
2025年3月	〃	〃
2025年4月	〃	〃
2025年5月	〃	〃
2025年6月	〃	一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動き(↑)
2025年7月	〃	〃
2025年8月	〃	〃
2025年9月	〃	〃
2025年10月	〃	〃
2025年11月	〃	〃
2025年12月	〃	〃